

授業科目名	教育制度論 (Theory of Educational System)		
科目番号	92300(産業技術学部) 82300(保健科学部)	授業形態	講義
単位数	2単位	履修年次	2年次
教員の免許状取得のための必修・選択	必修	受講対象	産業技術学部 保健科学部
担当教員(研究室)	辻村 貴洋 (非常勤講師)		
実務経験のある教員による授業科目			
免許法施行規則に定める科目区分等	教育の基礎的理解に関する科目 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		
授業の到達目標	1. 教育制度の基本的な概念を理解する 2. 教育制度の変遷をとらえる 3. 近年の教育上の課題について、自分の意見を持つことができる。		
授業概要	教育制度の歴史、基本概念、問題点等について学ぶ。講義形式を中心とし、時折、ディスカッションやワークショップを中心としたい。最近の教育環境を取り巻く課題やトピックを取りあげながら、教育実習に向けて主体的な学びを期待したい。また、批判的視点に終始せず、そこからの建設的考察を求めたい。		
時間外学修の内容と時間の目安	準備学修 授業前に予習し、扱うテーマについておおまかに把握する (2H) 事後学修 授業後に復習し、不明な点があれば質問する (2H)		
授業計画	第1回:ガイダンス 授業の目的と概要 第2回:日本国憲法と教育 第3回:教育をめぐる権利の構造とそれを保障する仕組み 第4回:学校教育制度の歴史 第5回:現代の学校教育制度① 法的根拠とシステム 第6回:現代の学校教育制度② 教育委員会制度とガバナンス 第7回:現代の学校教育制度③ 教員の養成・採用・研修と身分保障 第8回:特別支援教育の仕組みと課題 第9回:近年の教育政策動向と課題(ディスカッション) 第10回:多様な教育機会保障へ向けた取り組み 第11回:学校における危機管理といじめ問題への対応 第12回:虐待防止と関係機関等との連携・協力 第13回:生活保障と教育①子育て支援 第14回:生活保障と教育②子どもの貧困と若者支援 第15回:まとめ 期末試験		
テキスト	なし。資料を配布します。		
参考書・参考資料等	授業中に適宜資料を配付、紹介する。		

成績評価方法	期末試験:50% 授業への積極的参加状況:50%
成績評価基準	A+:到達目標を達成し、特に優秀な成績を修めている A:到達目標を達成し、優秀な成績を修めている B:到達目標を達成し、良好な成績を修めている C:到達目標を最低限達成している。 D:到達目標に達していない